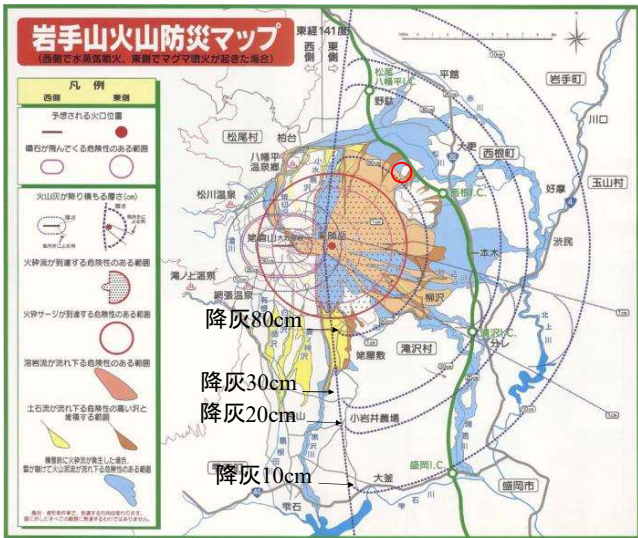


岩手県における岩手山の火山防災対策について

岩手山の火山活動

岩手山では、平成9年ころから火山活動が活発になり、平成11年ころには、噴気が発生するなど活発な活動が見られました。現在は平穏な状態ですが、今なお噴火の可能性を秘めています。



↑ このマップは岩手山の過去の噴火に関する調査をもとに作成したものです。過去の噴火と同等の規模の噴火が発生した場合を想定して、災害予想区域を表示しています。

岩手山の火山活動状況調査

機上観測

地熱域の現況を把握するため、年2回(春、秋)、防災ヘリにより機上観測をしています。地熱域を確認することを目的とするものです。



岩手山現地調査

岩手山西側・大地獄谷の高温地域の地温観測と噴気の状態等について把握するため、年1回調査を実施しています。



火山噴火対応の砂防堰堤設備の推進

岩手山周辺を中心に降下火砕物が影響する溪流で、下流の住宅や公共施設等に被害を及ぼす恐れのある40溪流について、国土交通省、林野庁、岩手県が連携しながら砂防堰堤整備を進めています。(岩手県では7溪流対策)

